

イベント開催記録 立命館大学嗜好品研究会

研究会の趣旨

本研究会は、当面はJSPSの『課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業』の「嗜好品」とは何か？－嗜好品に関する学際的研究と文献データベース構築を通して」という課題に紐づけて運営していきます。

この課題では、「嗜好品」とは何かについて、人文学・社会科学とともに自然科学の分野において検討し、時間軸・空間軸における嗜好品の偏差を鳥瞰図として描くことを目指しています。

嗜好品は一般的な食品と異なり、栄養機能よりも、感覚刺激を求めて摂取され、薬理・心理的嗜好性が存在するとともに、依存症に陥るデメリットが存在します。

これらの特徴の側面の科学的な裏付けを心理学・認知科学的な知見から得て、人文学的な知見に付加することで、自然科学・人文科学・社会科学にまたがる嗜好品の特徴を浮き彫りにしようと考えます。

あわせて嗜好品を研究する他の外部機関との連携とともに、学内学部の協力を得て嗜好品に関する新たな学術データベースの構築を目指し、嗜好品の総合的研究を確立したいと考えております。

研究代表：松原豊彦・立命館大学教授

事務局長：和田有史・立命館大学教授

開催記録

第1回研究会

日時：2018年1月7日（日）13:00～17:00

場所：京都駅前キャンパスプラザ6階第1会議室

参加者：24名

発表者・テーマ

朝倉敏夫（立命館大学教授、国際食文化研究センター長）

課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業「嗜好品」とは何か？

－嗜好品に関する学際的研究と文献データベース構築を通して－の概要

正田正博（株式会社シー・ディー・アイ代表取締役）

嗜好品文化研究会の場合

*「嗜好品文化研究会」は「立命館嗜好品研究会」とは別組織。2001年設立の嗜好品文化に関する先駆的研究会で、会誌『嗜好品文化研究』の刊行、嗜好品文化フォーラムや若手研究者のための研究奨励事業など、活発な研究活動を行っている。

五十島安伸（大阪大学教授）

味覚報酬性の調整メカニズムと過剰摂取



第2回研究会

日 時：2018年7月28日（土）13:00～17:00

場 所：立命館大学大阪いばらきキャンパス・コロキウム（B棟3階）

参加者：30名

発表者・テーマ

山田聡昭（酒文化研究所）

酒の平成史

－平成に入って30年間の国内の酒消費の変化を定量的に示し定性情報を補足する－

八百啓介（北九州市立大学教授）

北部九州の菓子文化と社会

第3回研究会

日 時：2019年1月12日（土）13:00～17:00

場 所：立命館大学大阪いばらきキャンパス・C棟214教室

参加者：22名

発表者・テーマ

大田壮一郎（立命館大学准教授）

勝尾寺の水餅について

中川加奈子（追手門学院大学准教授）

近代化と肉食タブー

－ネパールにおける『肉売りカースト』の人びとの試み－